

### はじめに...

今後30年以内に起こる可能性が高いとされている南海トラフ地震に関連して、東稜高校周辺でも起こる可能性のある液状化現象について過去の事例とともに調べました。

### 液状化現象とは？

地震の際に、地下水位の高い砂地盤が振動により液状になる現象です。これにより、比重の大きい建造物が埋もれ、倒れたり、地中の比重が小さい建造物が浮かび上がったりします。

### 液状化現象が起こりやすい地形

・埋立地・河川のそば・過去に沼や川だった場所

### 【東稜高校周辺の液状化危険ポイント！】

<http://multi-hazard-map.pref.kyoto.jp/top/top.ask>参照



 ... 液状化危険度 小
  ... 液状化危険度 中

### 起こる条件

1. 土地に砂が堆積していること
2. 砂地盤が地下水に浸かっていること
3. 砂地盤がゆるい状態であること

### 過去に起こった事例

#### ・ 1995年 阪神淡路大震災

人工島（埋立地）であるポートアイランドで大規模な液状化現象が発生し、港湾施設に洪水が起きたかのような状況になりました。

#### ・ 2011年 東日本大震災

震源地から遠く離れた千葉県や神奈川県を中心に液状化現象が発生し、地面の沈下によって水道管やガス管が亀裂し、ライフラインの復旧に何日もかかる大きな被害が出ました。

### 液状化現象の対策として

1. 地盤調査会社に土地のことを調べてもらう。
2. 地震保険に入る。
3. 地盤サポートマップで液状化の可能性を知る。  
地盤を調べるには下記のURLから確認できます。

<https://supportmap.jp>